

# 九州の樹脂加工増強

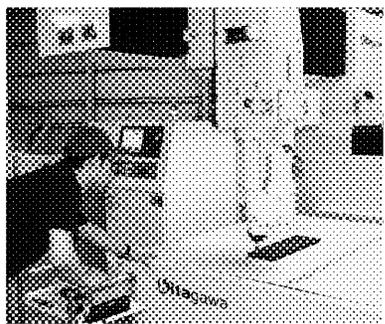
## 石原パッキング ウォータージェット導入

【福岡】石原パッキング工業（岡山市東区、石原和典社長）は、九州工場（福岡県須恵町）の樹脂加工能力を増強した。約1億円を投じ、最新の5軸ウォータージェットカッターを導入した。半導体製造装置部品や自動車部品など九州地域の加工需要が拡大しており、今後も拡大が見込めることから導入に踏み切った。

導入した5軸ウォータージェットカッターは北川鉄工所製。ノズル部分があるアームの回転などの動きによつて、傾斜を含む複雑形状でも1工程で加工できる。九州工場は従来に比べ、加工対象物（ワーク）によつては

作業時間を半減できる脂の加工を手がける。全国に顧客を持ち、試作から多品種小ロットはゴムやスポンジ、樹

ト、量産まで対応する。



5軸ウォータージェットカッターの導入は本社工場に次いで2カ所目

2カ所目。複雑形状の加工などに使い、同業での導入は珍しいという。従来は本社工場の設備を九州での受注分にも使用していた。事業継続計画（BCP）の観点からも、2拠点での所有を決めた。九州の顧客の納期を短縮するほか、本社工場との役割を分担し、全社の加工能力を高める。同社は切削加工機も使用しており、九州工場では2軸のウォータージェットカッターも導入していた。5軸機の導入効果で、「九州工場の年間売上高は1年後に10%増の11億円を目指す」（大石隆二 営業本部長）。